

『時事直言』 No.1702 2024年10月28日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] info@chokugen.com

[X(旧 twitter)] [t_masuda2019/](https://twitter.com/t_masuda2019)

[Youtube] 増田俊男チャンネル/

[instagram] [t_masuda2019/](https://www.instagram.com/t_masuda2019/)



時事評論家 増田俊男

衆院選を総括する

私は石破総裁が早期解散を決めたのは野党に結束の時間を与えない為と組閣において裏金問題の元安倍派を冷遇したことなどで党内に亀裂が起きる暇を与えない為であるから正しい判断だと言った。選挙戦に臨むにあたっては増田チャンネル(無料放送)や増田塾などで、「政治とカネの問題は名実ともに終わっている」ことを強調し、選挙戦の論争対象にしてはならないと言ってきた。

「政治は謝ったら負け」を忘れてはならない。

野党が政治とカネの問題を取り上げたら、「野党はそんなことでしか戦えないのか。天下国家の論争はしないのか、それとも出来ないのか」と国民が思うように有権者を誘導しなくてはならないと何度も発言した。

野党も参加した国会で選挙資金規正法改正案が成立したのだから法案の良し悪しは別にして一応問題の決着は着いている事実を主張しなくてはならなかった。

裏金問題に関係した議員を除名し、安倍派の党内残留組を組閣に当たって冷遇したのは良かったが、小泉純一郎が郵政民営化反対議員を除名するばかりか無所属で立候補したら刺客を送って落選させるくらいの厳しくはっきりした態度を取った結果総選挙で自民党は大勝したことから石破は何も学んでいない。

安倍派問題大物議員に頭を下げて除名をお願いしている石破は小泉純一郎とは月とスッポンだ。

今までの日本を変えて欲しいと望んでいる国民の思いに合わない「ルールを守る、日本を守る」などと見当違いのことを言ってみたり、アジア版 NATO 等出来もしないことを言ったり、「日米安保は日本の安全の要」だと口癖のように言ってきたのに日米安保を普通の国同士の条約に改正したいなど国民にもアメリカにもわからないことを言う。

石破の持論は何もかも説明不足。

説明しなくてはわからないようなことや出来ないことは主流になったら言わないことだ。

敗因となった政治と金の問題が選挙論争になってしまったのは石破の「踏ん切りの悪さ」である。

親父に似て踏ん切りの良い小泉進次郎まで犠牲にしてしまった石破の罪は重い。

大好評発売中！増田俊男の小冊子 Vol.143

『アメリカの虚像と実像』

現在増田俊男の小冊子 Vol. 143 は**好評発売中**です。

内容は、***アメリカの建国は誰の為であったのか** *アメリカは人種、宗教、文化、権力闘争の分断社会 *アメリカは永遠の暴力社会である *ウクライナ戦争もイスラエル・ハマス戦争も出来レースである。***進む日本の対米支援体制** *戦後 80 年にして**ジャパン・アズ・No.1**が蘇る等です。価格は、**1冊 4,800 円(税・送料別)**。詳しいご案内、お申込みについてはマスタ U. S. リサーチジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313、HP : <http://chokugen.com/>) まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313) までお知らせ下さい。